

大阪府水道基盤強化計画 令和7年度取組状況

<主体> 広:広域的に展開する 府:主に大阪府が取り組む 事:主に水道事業体が取り組む 企:主に大阪広域水道企業団が取り組む

<効果> 財政基盤の強化 適切な維持管理と計画的な更新・耐震化 組織力の充実

※府内の水道事業:42事業 水道用水供給事業:1事業 合計43事業

1 広域連携

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 大阪広域水道企業団との統合	1 経営の一体化・事業統合	広		・大阪広域水道企業団(以下「企業団」)と市町村水道事業との統合 ・5団体(岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市)の水道事業と統合(令和7年4月1日)	・企業団と3団体(泉大津市・箕面市・門真市)の令和9年4月の統合に向けた検討、協議
	2 統合促進	府企		・広域化による基盤強化を図るため、令和8年度事業として大阪府水道DX運営基盤強化推進事業補助金(府補助)を創設 ・広域化の取組を更に推進するため、広域化事業等の交付金(社会資本整備総合交付金)について、「時限措置の撤廃又は延長、若しくは、新たな統合促進のための制度創設」を国土交通大臣に要望(令和7年8月20日)	
	3 水道施設の最適配置等	企		・豊能:光風台配水池と豊能受水場の統廃合に向けた川尻減圧接合井有効利用詳細設計委託を実施 ・北部エリア:中央監視装置等更新の詳細設計委託を実施 また、中央監視装置等の更新維持事業を実施中 ・藤井寺:船橋浄水場更新工事を実施中 また、野中配水場更新詳細設計委託を実施中 ・千早赤阪、河南:川野辺受水場等の共同利用による馬谷配水池等の廃止に向けた連絡配水管布設工事を実施中 ・千早赤阪:連絡管を整備中 ・忠岡:北出第1配水場ほか配水池等更新詳細設計委託を実施 ・泉南、田尻:中央配水場を整備 ・南部エリア:集中監視制御設備を整備中 泉南:六尾配水場更新詳細設計委託を実施中 ・阪南、岬:淡輪高区配水池の共同利用による箱の浦受水場の廃止に向けた送水管を整備中 ・岸和田:赤山配水場配水池等更新工事を実施中 また、今木連絡管整備に関する配水管布設詳細設計委託を実施中	・豊能:光風台配水池と豊能受水場の統廃合に向けて、配水池の改良工事と送配水管布設替工事を実施 ・北部エリア:引続き、中央監視装置等の更新維持事業を実施 ・藤井寺:引続き、船橋浄水場更新工事を実施。また、野中配水場更新詳細設計委託を実施 ・千早赤阪、河南:引続き、連絡配水管布設工事を実施 ・千早赤阪:引続き、連絡管を整備 ・泉南、田尻:引続き、中央配水場を整備(既存施設の撤去) ・南部エリア:引続き、集中監視制御設備を整備 ・泉南:引続き、六尾配水場更新詳細設計委託を実施。また、六尾配水場更新工事を実施 ・阪南、岬:引続き、淡輪高区配水池の共同利用による箱の浦受水場の廃止に向けた送水管を整備 ・八尾、柏原:今町受水場廃止に向けた連絡管布設詳細設計委託等を実施 ・岸和田:引続き、赤山配水場配水池等更新工事を実施 また、今木連絡管整備に関する配水管布設詳細設計委託を実施
	4 一体的な運営による効率的で効果的な事業運営	企		【業務の標準化】 ・営業業務(検針・徴収スケジュール、使用開始・中止時の料金計算、漏水減免など)の標準化(令和6年4月から順次実施) 【水道料金システムの統一】 ・統合料金システムの運用開始(令和6年10月から順次実施)(藤井寺、泉南、四條畷、大阪狭山、豊能地域、忠岡、熊取、田尻、太子、河南) 【水道センターの統合】 ・太子・河南・千早赤阪の3水道センターを南河内地域水道センターに統合(令和7年4月)	【水道料金システムの統一】 ・統合料金システムの運用開始(令和8年4月から岬、千早赤阪で導入) 【水道センターの統合】 ・泉南・阪南・田尻・岬の4水道センターを泉南地域水道センターに統合(令和8年4月)
	5 ユニバーサルサービスをめざした取組	企		・令和2年度に定めた「市町村域水道事業における料金改定の考え方」に基づき、阪南水道事業の料金を改定。(令和8年4月1日施行)	<令和8年度取組予定> ・千早赤阪水道事業の料金改定を検討。

2 淀川系浄水場最適配置	1 淀川系浄水場の整備	事	¥ 	・大阪市:柴島浄水場(3系)におけるエマージェンシーラインの構築(南海トラフ巨大地震に備えた暫定整備)を実施(令和6年4月完成)※暫定整備のため、計画には記載なし ・大阪市:柴島浄水場(新系)の整備事業に向けた、基本検討を実施済(令和8年3月完成) ・枚方市:中宮浄水場更新工事を実施 ・企業団:村野浄水場(W系)更新工事を実施	＜令和8年度取組予定＞ ・大阪市:柴島浄水場(新系)の整備事業において、官民連携手法の活用を想定し、事業期間の短縮・事業費の削減に加え新技術の導入や効果的な技術継承など事業実施効果を高めることができる方策の検討(令和9年3月完了予定) ・枚方市:中宮浄水場、令和10年度運用開始に向け更新工事を進める ・企業団:引き続き、村野浄水場(W系)更新工事を実施
	2 大阪市・守口市浄水場の共同化(令和6年度運用開始)	事	¥  	・浄水場の共同運用開始済(令和6年4月)	
	3 将来的な一体運用を見据えた連携施策の検討	事		・大阪市、企業団:淀川系浄水場の更新期間中の事故対策として、応援可能水量等の共有、連絡管の合同操作訓練を行い、連携体制を確認した。 ・守口市、企業団:大日分岐受水管を災害対策連絡管に転用する協議が整った。	・守口市、企業団:令和8年度に災害対策連絡管の運用協定を締結する。
3 水道事業体間の水道施設の共同化	1 水道事業体間の水道施設の共同化	広	¥ 	・箕面市、豊中市、吹田市:共同ポンプ施設による箕面市船場東受水場等の統廃合について、引続き検討中 ・豊中市、吹田市:令和8年3月に豊中市寺内配水場の共同化に関する覚書締結	
4 水道事業体間の業務の共同化	1 共同発注・共同購入等	広	¥  	・衛星画像解析を用いた漏水探知業務の共同発注を実施(堺市、東大阪市、枚方市、和泉市、河内長野市、企業団(八尾、富田林)) ・漏水調査業務の共同発注を実施(堺市、企業団(富田林)) ・水道料金検針・収納業務の共同発注を実施(羽曳野市、企業団(富田林、柏原、羽曳野、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪)) ・水道施設管理業務等の共同選定を実施(河内長野市、羽曳野市、企業団(富田林、柏原、大阪狭山、太子、河南))	＜令和8年度取組予定＞ ・衛星画像解析を用いた漏水探知業務の共同発注を実施(東大阪市、豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、門真市、和泉市、企業団(豊能地域、八尾、忠岡、熊取、岬))
	2 施設の運転・維持管理の共同化	広	¥  	・水質検査機器の共同使用開始(池田市・豊中市) ・水質検査業務の一部協同化を検討(高槻市、島本町) ・水質共同検査の実施	・島本町、水質検査業務の一部を高槻市へ委託
	3 水道事業体間におけるシステムの共同化	府事	¥  	・WGにて水道施設台帳(管路以外)の調書について取り扱うデータの仕様を定めた。(システム更新の機会等を捉えて順次あわせていくことを基本とする。)	
	4 指定業者制度に係る事務の共同化	府事	¥ 	・WG(令和5、6年度)で検討を行い、各事業体で引き続き導入検討	
5 水道事業体における技術連携と人事育成	1 共同研修等	広		・水道技術工法研究会(水道産業新聞社主催・日本水道協会大阪府支部(以下「日水協府支部」)後援)の実施	
	2 人事交流	広		・引続き、取組を実施	
	3 ノウハウの共有、技術連携	広	 	・計画記載の取組を継続して実施	
6 広域連携による危機管理体制の強化	1 連携深化の取組	府事		・応急給水先のリストアップ:整備済42/43事業 ・給水車向け応急給水先周辺地図、進入経路図等の作成:整備済21/43事業 ・操作盤の図解付き手順書作成・操作盤付近への備付:整備済30/43事業	
	2 合同防災訓練・研修	府事		・情報伝達、応急給水の合同訓練実施(11月5日、6日) (大阪府・日水協府支部主催、府内水道事業体、近畿地方整備局、自衛隊参加)	・引続き、合同訓練を実施
	3 水道事業体間の緊急対策	事	¥  	・受水管(大日分岐)の災害対策連絡管への転用協議を実施(守口市、企業団) ・緊急連絡管を有する42事業のうち、19事業で訓練を実施	・令和9年度に災害対策連絡管への位置付け予定(守口市、企業団)

2 官民連携

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 官民連携	1 DBOやPFI等を活用した管路・水道施設の更新	事	¥  	・大阪市:基幹管路耐震化PFI事業の実施(R6年度～R13年度) モニタリングを通じた進捗管理・品質管理 ・堺市:PFI方式にて「水運用管理システムほか設備更新・維持管理事業」を公告し、事業者選定を実施、事業契約を締結 ・豊中市、高槻市:概算数量設計発注方式による管路更新 ・枚方市:中宮浄水場更新事業にDBO手法を採用 ・企業団:河南地域送水管の複線、ループ化に管路DBを実施	・豊中市、高槻市:概算数量設計発注方式による管路更新を継続 ・企業団:河南地域送水管の複線、ループ化に管路DBを継続
	2 先進的な取組を実施している水道事業体による技術支援	広	¥  	・府域一水道に向けた水道のあり方協議会(以下、「あり方協議会」)において水道DX等の先進事例の説明会を実施(令和7年8月)	・引続き、官民連携等の先進事例の説明会を実施
	3 先進事例の研究	事	¥  	・豊中市:水中ドローンを活用した配水池点検、スマートメーターを活用した漏水調査、音圧ロガーによる漏水調査 ・吹田市:水道ICT化に向けての実証実験の実施 ・枚方市:仮想発電所の活用、簡易DBによる工事発注 ・企業団:村野浄水場においてマイクロ風力発電のフィールド試験を実施 リサイクル水道スマートメーターのフィールド試験を実施	・吹田市:水道ICT化に向けての実証実験の継続 ・企業団:リサイクル水道スマートメーターのフィールド試験を実施

3 適切な資産管理

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 水道施設台帳の管理、電子化	1 管路の平面図電子化(R7年度まで)	事	¥ 	・整備済:43/43事業	
	2 水道施設台帳100%電子化(令和19年度まで)	事	¥ 	・整備済:31/43事業	
	3 水道施設台帳の適切な管理	事	¥ 	・水道施設台帳の記載内容の更新:42/43事業 ・台帳への点検・修繕等記録の反映:29/43事業 ・災害に備えた水道施設台帳のバックアップ管理:41/43事業	
	4 水道施設台帳の仕様統一化の検討	府事	¥ 	・あり方協議会で水道施設台帳WGを設置し、水道施設台帳(管路以外)について、取り扱うデータの仕様統一化を検討し、とりまとめた	・WGでの検討結果をベースに、全事業体において仕様統一化に向けた取組み(台帳整備等)を進める
2 アセットマネジメント・収支見通し	1 精度の高いアセットマネジメントの実施(令和19年度まで)	事	¥ 	・タイプ4D(詳細精度):35/43事業 ※残り8事業もタイプ3C(標準精度)	
	2 中長期的な収支見通しの見直し(3～5年)	事	¥ 	・実施済(公表済):39/43事業	
3 水道施設等の更新等	1 アセットマネジメント等に基づく計画的な施設更新・耐震化	事	¥ 	・概ねできている:43/43事業	
	2 ガイドラインに沿った適切な点検を含む維持管理・修繕	事	¥ 	・概ねできている:43/43事業	
	3 点検等に係る最新技術の導入	事	¥ 	・衛星画像解析を用いた漏水探知の検討、実施または検証(堺市、豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、枚方市、門真市、大東市、東大阪市、松原市、河内長野市、和泉市、企業団(豊能地域、八尾、富田林、忠岡、熊取、岬)) ・水中ドローンを活用した配水池点検(豊中市) ・ドローンによる水管橋等の施設点検の検討、実施または検証(大阪市、茨木市、大東市、企業団) ・AIによる管路等劣化診断の実施、検証または調査(交野市、和泉市)	・浄配水施設内におけるタブレットを活用した日常点検(吹田市) ・衛星画像解析を用いた漏水探知の実施または検証(堺市、豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、枚方市、門真市、東大阪市、河内長野市、和泉市、企業団(豊能地域、八尾、富田林、河内長野、忠岡、熊取、岬)) ・施設点検へのドローン本格導入検討(企業団)

4 新たな技術の活用

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 水道利用者の利便性 向上	1 電子決済による料 金支払の導入	事	¥ 	・クレジットカード支払:21/42事業 ・スマートフォン決済:41/42事業	
	2 スマートフォンアプ リ等の活用等	事	¥ 	・インターネットによる手続き等:30/42事業 堺市、摂津市:事業体独自のスマートフォンアプリを活用している。	
	3 スマートメーターの 活用	事	¥ 	・大阪市:令和元年、令和3年にスマートメーターを市内一部(約250箇所)に導 入済み 令和6年より行っている電力インフラを活用した通信に関する共同研究におい ては、電力との共同検針時における通信安定性を確認するための電波強度測定 実験を実施中 ・池田市:市内約100か所で実証実験を実施 ・豊中市:市内小中学校92か所で実証実験実施中 ・吹田市:市内336か所で実証実験中 ・高槻市:令和7年度4月より実証実験開始 ・枚方市:令和8年度の実証実験開始に向け準備 ・企業団(忠岡):町内約70か所で実証実験を実施 ・企業団(柏原):市内約10か所で実証実験を実施中	・大阪市:共同研究については継続実施 令和8年は導入箇所を拡大し、一般家庭での通信安定性の検証や市民 サービス向上の効果検証等を実施予定 ・吹田市:実証実験を継続 ・企業団(柏原):実証実験を継続
2 先進技術の活用	1 水道施設等の維持 管理に係る先進技術の 導入	事	 	・浄水処理の自動化(AIやセンサーを用いた凝集剤注入率制御)に関するフィー ルド試験の実施(企業団) ・RC構造物の劣化調査の一部に画像解析診断計画を検討(大阪市) ・水中ドローンを活用した配水池点検(豊中市) ・衛星画像解析を用いた漏水探知の検討、実施または検証(堺市、豊中市、吹田 市、摂津市、高槻市、枚方市、門真市、大東市、東大阪市、松原市、河内長野市、 和泉市、企業団(豊能地域、八尾、富田林、忠岡、熊取、岬)) ・衛星データとAIを活用した漏水リスク診断(企業団(岸和田)) ・AIによる管路等劣化診断の実施、検証または調査(池田市、交野市、泉佐野市) ・管路へのセンサー設置による高精度管網解析システムに関するフィールド試験 の実施(企業団(阪南)) ・音圧ロガーによる漏水調査(豊中市) ・スマートメーターを活用した漏水調査(豊中市)	<令和8年度取組予定> ・浄水処理の自動化に関する実証実験の実施(企業団) ・RC構造物の劣化調査の一部に画像解析診断計画を実施(大阪市) ・浄配水施設内におけるタブレットを活用した日常点検の実施(吹田市) ・ロボットによる配水池清掃(吹田市) ・AIによる管路等劣化診断の実施、検証または調査(池田市) ・衛星画像解析を用いた漏水探知の実施または検証(堺市、豊中市、吹田市、摂津 市、高槻市、枚方市、門真市、大東市、東大阪市、松原市、河内長野市、和泉市、企 業団(豊能地域、八尾、富田林、忠岡、熊取、岬)) ・衛星データとAIを活用した漏水リスク診断(企業団(岸和田、八尾、柏原)) ・管路へのセンサー設置による高精度管網解析システムに関するフィールド試験の 実施(企業団)

5 人材の確保及び育成

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 人材の確保及び育成	1 再任用職員等の活用、就職セミナーへの参加等人材確保の取組	事	¥  	・大阪市、枚方市、企業団：就職セミナーへの参加 ・大阪市、枚方市、企業団：インターンシップの実施	
	2 技術継承に向けた技術研修等の実施	事	¥  	・大阪市、豊中市、吹田市、枚方市、大東市、交野市、東大阪市、貝塚市、企業団：資格取得等の助成を実施	

6 住民理解の促進

実施方策		主体	効果	取組状況・取組事例	備 考(次年度以降の取組等)
1 水道事業体における住民理解の充実、強化	1 水道事業体の情報発信(7項目)(令和7年度まで)	事	 	<公表状況> ・水道ビジョン:43/43事業 ・経営戦略:43/43事業 ・水安全計画:39/43事業 ・事業経営状況(収支見通し):42/43事業 ・耐震化(老朽化)の現状と更新計画:42/43事業 ・水道料金の仕組みや定期的見直しの必要性:39/43事業 ・緊急情報(事故状況、復旧見込み、給水所開設情報など):41/43事業	
	2 水道事業体における住民理解の促進	事	¥  	・箕面市：水道事業の現状と課題及び企業団との統合検討状況や水道事業の経営戦略の策定についてのパブリックコメント及び説明会の実施 市広報紙に水道事業の課題や企業団との統合についての特集記事を掲載 統合検討状況の説明会の内容をYouTubeで情報発信 ・寝屋川市：寝屋川市水道事業ビジョンの策定についてパブリックコメントの実施 ・企業団：料金改定に関する説明会の開催。 ・各事業体において広報媒体や各種機会を通じて水道に関する情報発信を実施	
2 大阪府による情報発信	1 大阪府ホームページでの情報発信	府	¥  	・水道に関する情報を掲載(耐震化の状況の更新、水道の広域化等)	・掲載情報を適宜更新する
	2 シンポジウム等の開催	府	¥  	・水道事業者向けの事例説明会を開催	・今年度も事例説明会を開催予定